



HTMLてんぷら 取扱説明書

この文書は多機能テンプレート置換ツール「HTMLてんぷら」の使用方法について説明したものです。

ドゥーハウ・ジャパン DU39

2010.06.11	初版
2010.06.13	基礎編と応用編を統合

目次

目次.....	2
基本事項	6
はじめに	6
HTMLてんぷらについて	6
処理イメージ	6
当ツールの活用法	7
ツールの起動方法	7
ツールの終了方法	8
実行モードについて	9
モードの切り替え	9
モードの確認	9
画面構成	10
画面遷移.....	10
ベーシックモード	11
ベーシックモードとは?	11
メイン画面.....	11
メイン画面の構成	11
メインページ	11
CSVデータ（メイン）の指定.....	11

先頭行が項目名かどうかを指定する	12
処理対象行を指定する	13
テンプレートの指定	13
保存先フォルダの指定	14
処理結果ページ	16
透明度の設定	16
バージョンの確認	17
保存ファイル名設定画面	18
プレフィックスについて	18
任意の項目値を選択時の注意点	18
アプリケーション設定	20
設定の即時反映	21
任意の処理対象データの選択方法	22
全選択する方法	22
選択を解除する方法	22
続した行を選択する方法	22
離れた複数の行を選択する方法	22
アドバンスモード	23
アドバンスモードとは？	23
メインデータとサブデータの関係	23
メインデータとサブデータとの紐づけ	23

リンク	23
サブ画面	24
C S Vデータ（サブ）の指定	24
リンクの設定	24
リンク設定画面	25
メインデータ側のリンク項目を選択する	25
サブデータ側のリンク項目を指定する	26
リンク項目の取り消し	27
APPENDIX	28
C S Vファイルの仕様	28
基本仕様	28
C S Vファイル（サブ）の仕様	28
テンプレートの仕様	30
基本仕様	30
テンプレート（サブセクションを含む）の仕様	30
操作ショートカット等	32
ファイル指定時	32
フォルダ指定時	32
ファイル指定ダイアログ	32
リンク設定画面	32
コンボボックス	32

トラブルシューティング	33
ボタンが押せない	33
テンプレートのサブセクションが置き換わらない。	33
サポート窓口	34
個人情報の取り扱いについて	34
免責事項	34

基本事項

はじめに

HTMLてんぷら（以降、当ツール）をご利用いただきありがとうございます。本誌は当ツールの使い方を説明したものです。

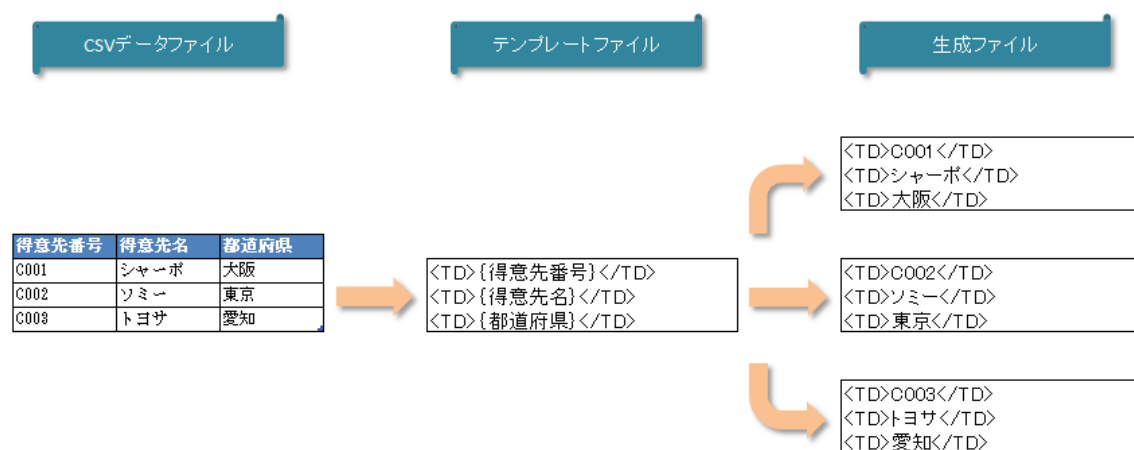
当ツールは画面を見ただけで直観的に操作できるように工夫していますが、多機能ツールの性質上、若干の説明が必要となる部分もあります。御面倒でもまずは最初にご一読くださるようお願いいたします。

HTMLてんぷらについて

当ツールは多機能なテンプレート置換ツールです。CSVファイル（カンマ区切りファイル）からデータを読み取り、テンプレートファイルのプレースホルダー（データで置き換える場所を指示したもの）をデータの値で置換して新たにファイルを生成します。

例えばワープロソフトでは、住所録のデータをテンプレートに流し込んで送り状を作成する『差し込み印刷』という機能がありますが、当ツールが行うのはイメージ的にはそのようなものです。

処理イメージ



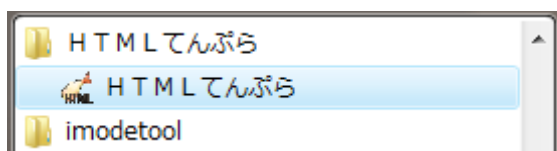
当ツールでは汎用的にテキストファイルをテンプレートとして使用します。基本的にはHTML形式で記述されたテンプレートを使用することを想定していますが、テキストファイルであれば特に形式は問いません。

このようなツールは従来からありましたが、使用出来る文字コードが限定されていたり、生成できるパターンもシンプルな形式だけのものでした。当ツールは従来のツールでは不可能であったメイン・サブ型のテンプレートに対応しています。

当ツールの活用法

HTML ページの作成。共通部分をテンプレートファイルとして保存しておき、データ部分だけを CSV ファイルのデータで差し替えることで、全体で統一感のあるデザインのページが作成できます。

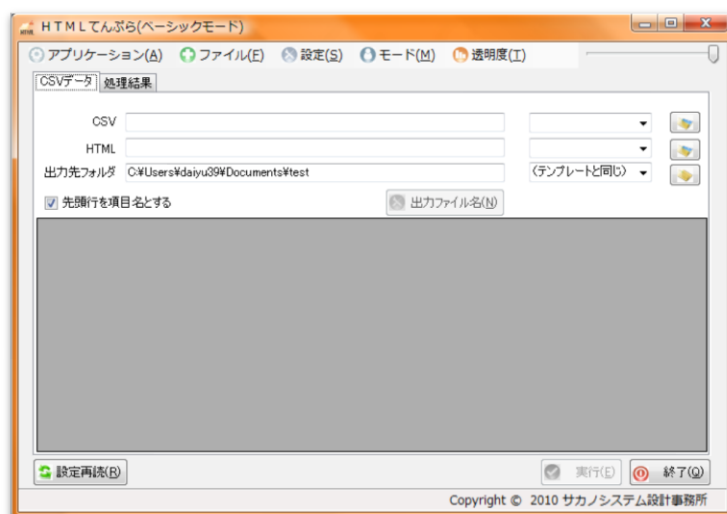
ツールの起動方法



「スタート」メニューから「すべてのプログラム」－「HTMLてんぷら」－「HTMLてんぷら」をクリックします。



または、デスクトップに作成された「HTMLてんぷら」のアイコンをダブルクリックします。

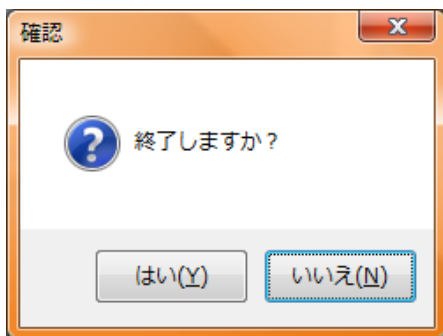


ツールが起動し、メイン画面が表示されます。

ツールの終了方法



画面右下の「終了」をクリックすると終了確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると終了します。

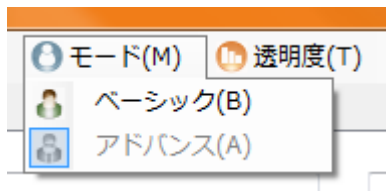
実行モードについて

当ツールには、使用者の熟練度と使用目的に応じた2つの実行モードがあります。

モード	内容	画面上の違い
<u>ベーシックモード</u>	入力データを1つだけ使います。	[サブ]ページは表示されません。
<u>アドバンスモード</u>	メインとサブの2つの入力データを使います。	[サブ]ページが表示されます。

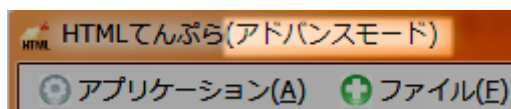
モードの切り替え

モードの切り替えは、メニューの[モード]でおこないます。



モードの確認

メイン画面の上部にタイトルと共にモードが表示されます。

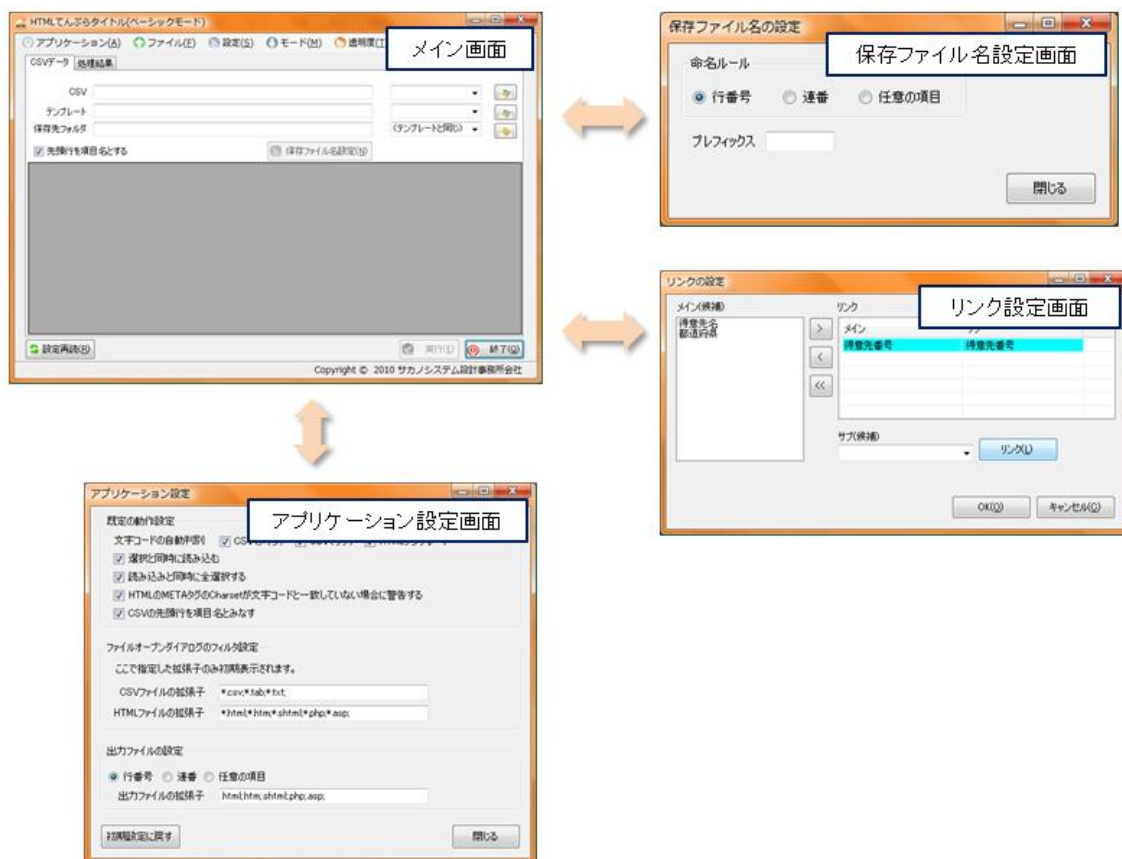


画面構成

当ツールは4つの画面で構成されています。それぞれの画面は常時使用できるものと特定の条件でのみ使用できるものがあります。

画面	説明	使用可能な条件
メイン画面	ツール起動時に最初に表示される画面です。複数のタブがあります。	常時
アプリケーション設定画面	各種動作を設定する画面です。	常時
保存ファイル名設定画面	保存ファイル名の命名規則を設定する画面です。	メインCSVデータを指定した後
リンク設定画面	アドバンスモードで、メインデータとサブデータの紐づけを設定する画面です。	メインCSVデータとサブCSVデータの両方を指定した後

画面遷移



ベーシックモード

ベーシックモードとは？

1つのデータだけを使うシンプルなモードです。

メイン画面

当ツールを起動すると最初にメイン画面が表示されます。

メイン画面の構成

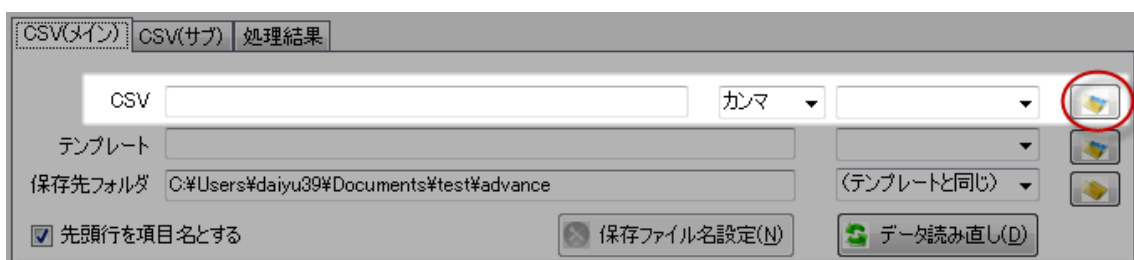
メイン画面は複数のページ（タブ）で構成されています。モードによって使用出来るページが異なります。

モード	ページ（タブ）
ベーシックモード	メイン、処理結果
アドバンスモード	メイン、サブ、処理結果

メインページ

ここではメインページで行う操作について説明します。

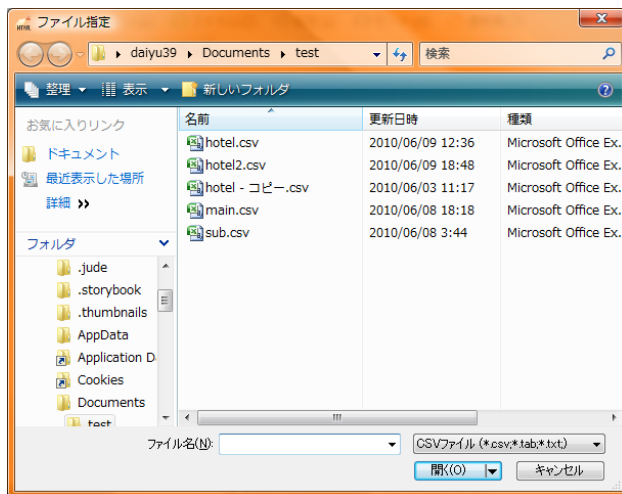
CSVデータ（メイン）の指定



メインページの CSV と表示されている項目でテンプレートに流し込むデータを指定します。

初期表示で区切り文字が「カンマ」となっています。タブ区切りのデータを指定する場合は「タブ」に変更します。（ファイルを指定した後で区切り文字を変更した場合は、[データ読み直し]をクリックしてください。）

フォルダアイコンが表示されたボタンをクリックすると、ファイル指定画面が開きます。



該当ファイルを選択して[開く]をクリックします。

文字コードが自動判別されて表示されます。自動判別できない場合は「UTF-8(BOM なし)」が設定されます。

有効なデータを指定すると、データを取込んで下部の表に表示されます。また保存ファイル名ルールを設定することが出来るようになります。

先頭行が項目名かどうかを指定する

CSV データの先頭行に項目名が入っている場合は[先頭行を項目名とする]にチェックを付けることで表の見出しに項目名が表示されます。

<input checked="" type="checkbox"/> 先頭行を項目名とする			
#	得意 先番号	得意 先名	都道府県
▶	C001	SONY	東京
	C002	シャープ	大阪
	C003	TOYOTA	愛知
	C004	松下電器	大阪

CSV データの先頭からデータが入っている場合は[先頭行を項目名とする]のチェックをはずすことで表の見出しに連番が自動的に表示されます。

☐ 先頭行を項目名とする

#	1	2	3
▶	得意先番号	得意先名	都道府県
	C001	SONY	東京
	C002	シャープ	大阪
	C003	TOYOTA	愛知
	C004	松下電器	大阪

処理対象行を指定する


背景が青色になっている行が処理対象行となります。既定ではCSVデータを選択すると自動ですべての行が選択状態になります。


特定の行だけ任意に選択したい場合は、[任意の処理対象データの選択方法](#)  をご覧ください。



テンプレートの指定

CSV(メイン) CSV(サブ) 処理結果

CSV C:\Users\daiyu39\Documents\test\advance\main.csv カンマ シフトJIS

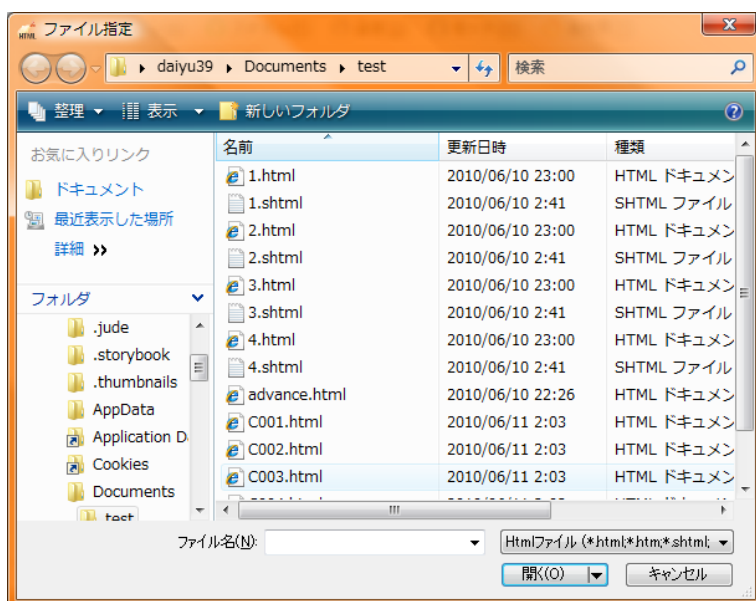
テンプレート C:\Users\daiyu39\Documents\test\advance\advance.html UTF-8(BOMなし) 

保存先フォルダ C:\Users\daiyu39\Documents\test\advance (テンプレートと同じ) 

☐ 先頭行を項目名とする  保存ファイル名設定(N)  データ読み直し(D)

CSVデータを流し込むテンプレートを指定します。

フォルダアイコンが表示されたボタンをクリックすると、ファイル指定画面が開きます。

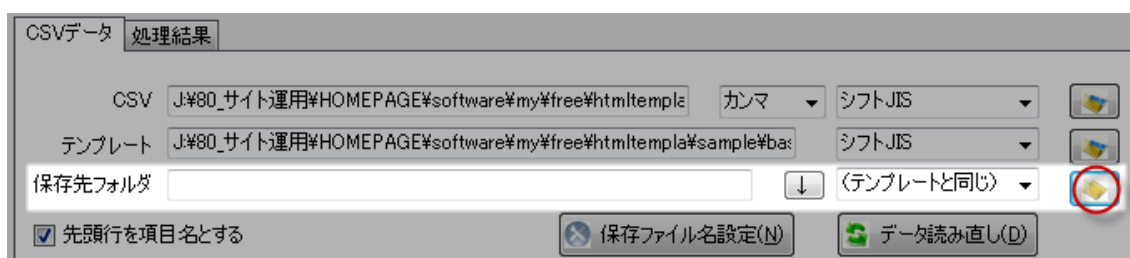


該当ファイルを選択して[開く]をクリックします。

文字コードが自動判別されて表示されます。自動判別できない場合は「UTF-8(BOM なし)」が設定されます。

テンプレートが HTML ファイルの場合で META タグの Charset が設定されている場合、自動判定した文字コードと設定されている文字コードに相違がある場合は警告を表示します。(この警告表示は設定で表示抑制することもできます)

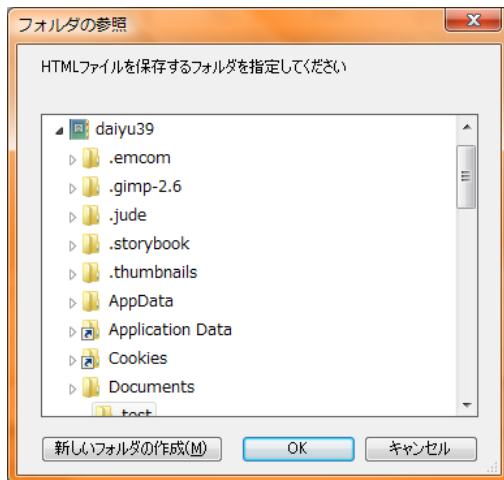
保存先フォルダの指定



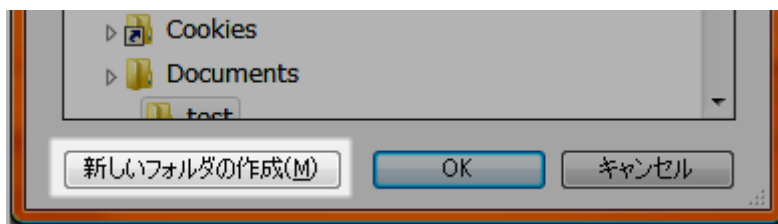
作成したファイルを保存する場所を指定します。

[↓]をクリックすると、テンプレートファイルと同じフォルダが設定されます。

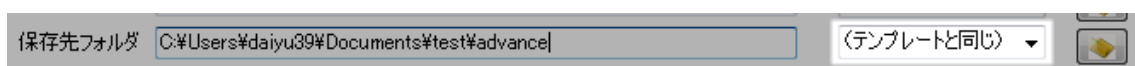
フォルダアイコンが表示されたボタンをクリックするとフォルダ指定画面が開きます。保存先が未設定の状態では、マイドキュメントのフォルダが初期表示されるようになっています。



保存先を選択して[OK]をクリックします。



[新しいフォルダの作成]をクリックすると、その場で新しいフォルダを作成することが出来ます。



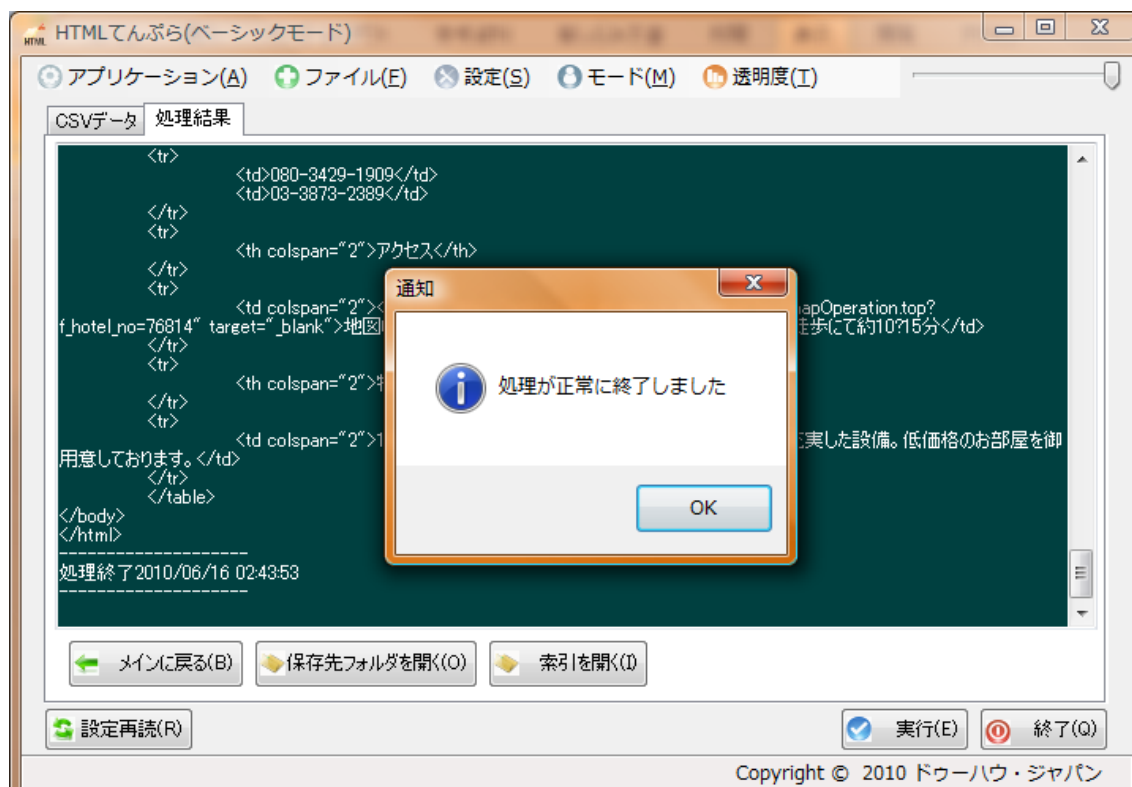
次に、保存するファイルの拡張子を指定します。テンプレートの拡張子をそのまま使用する場合は、「（テンプレートと同じ）」のままで構いません。

実行



[実行]ボタンを押すと保存先フォルダにファイルが生成されます。処理が終わると処理完了メッセージが表示され、処理結果ページ（下）が表示されます。

処理結果ページ



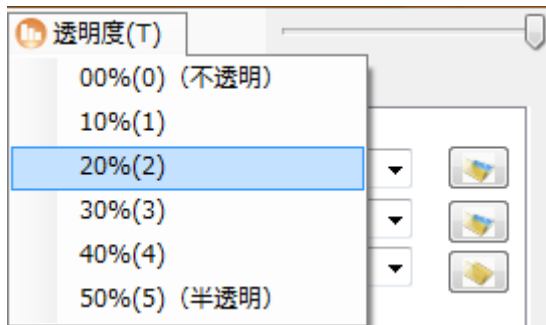
[保存先フォルダを開く]をクリックすると、ファイルを保存したフォルダを開くことができます。

[索引を開く]をクリックすると、作成したファイルが一覧表示された索引ファイルを開くことができます。

[メインに戻る]をクリックすると、メインページに移動します。

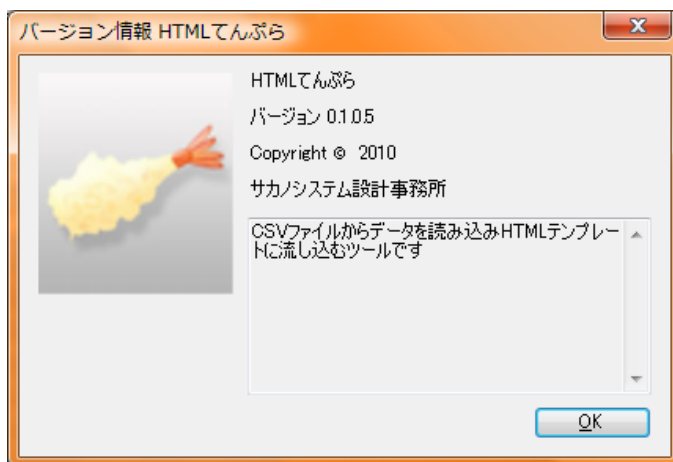
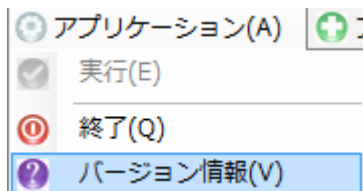
透明度の設定

透明度を設定すると、画面下の文字が透けて表示されます。透明度は不透明から半透明まで6段階に設定できます。メニュー[透明度]を選択もしくはスライダーを左右に動かして設定します。

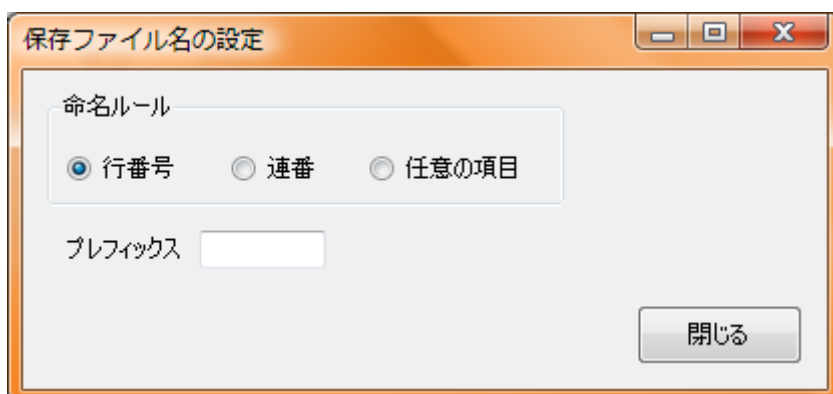


バージョンの確認

現在インストールされているバージョンを確認するには、メニューの[アプリケーション]–[バージョン情報]をクリックします。



保存ファイル名設定画面



保存するファイル名の命名ルールおよび補助項目を設定します。初期値として選択した行番号が設定されています。必要がなければ設定を省略することができます。命名ルールは次の3つから選択可能です。

命名ルール	説明	補助項目
選択した行番号	選択した行番号がファイル名として使用されます。	プレフィックス
連番	開始番号からの連番がファイル名として使用されます。	プレフィックス、開始番号
任意の項目値	選択した項目名の値がファイル名として使用されます。	プレフィックス、項目名

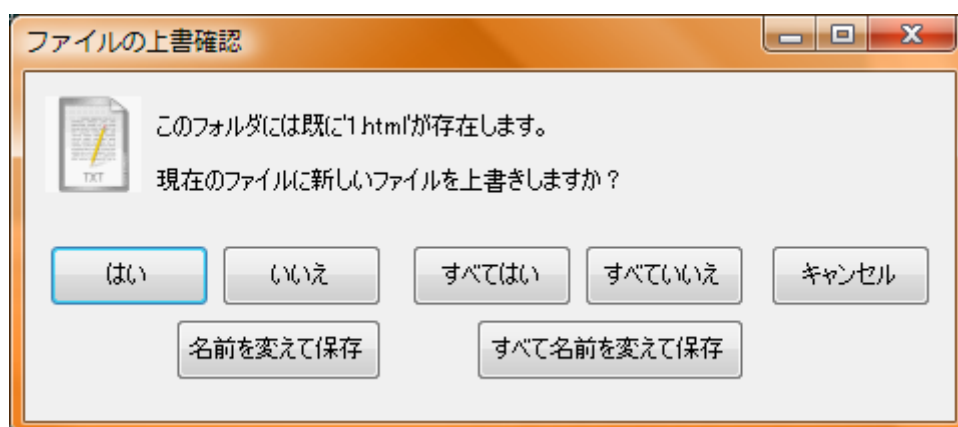
プレフィックスについて

プレフィックスは選択した命名ルールに共通して使用されます。ファイル名の先頭に、入力した文字が付加されます。

任意の項目値を選択時の注意点

命名ルールで「任意の項目値」を設定する場合は、ファイル全体を通して項目値が重複しない項目を選択してください。

項目値が重複する場合は、あとから保存しようとするファイル名が既に存在するため、上書保存確認メッセージが表示されます。

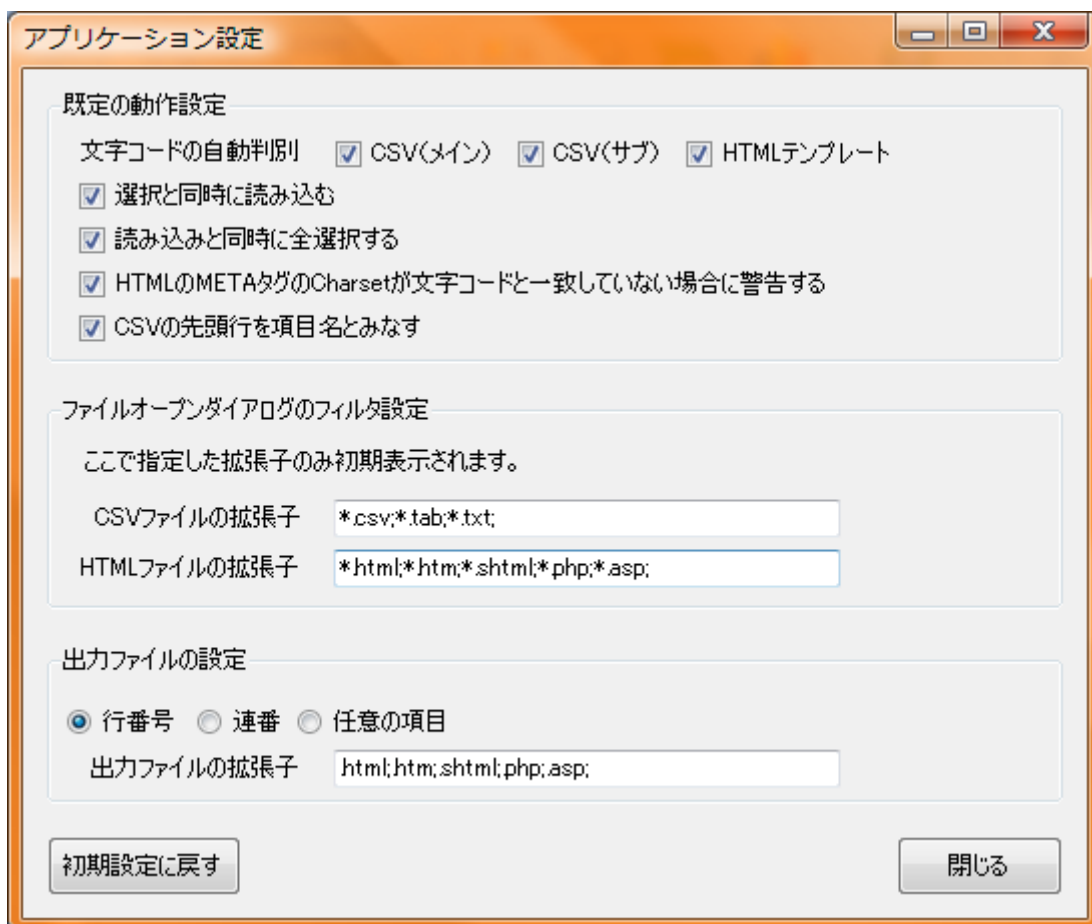


このメッセージの画面のボタンの意味は次のとおりです。。

クリックするボタン	意味
はい	上書きします
いいえ	上書きしません
名前を変えて保存	末尾に“(2)”を付加して保存します
すべてはい	上書きします。以降、ファイル名が重複するものがあれば確認なしで同様に上書きします
すべていいえ	上書きしません。以降、ファイル名が重複するものがあれば確認なしで同様に上書きしません
すべて名前を変えて保存	末尾に“(2)”を付加して保存します。以降、ファイル名が重複するものがあれば確認なしで同様に処理します。名前を変えたものがさらに存在する場合はさらに“(2)”を付加します
キャンセル	上書きしません。以降の処理を中断します

アプリケーション設定

当ツールの動作を設定する画面です。ここで設定した値はツールを終了しても保持されます。次回からは設定したものが適用された状態で起動します。



アプリケーション設定

既定の動作設定

文字コードの自動判別 ☒ CSV(メイン) ☒ CSV(サブ) ☒ HTMLテンプレート

☒ 選択と同時に読み込む

☒ 読み込みと同時に全選択する

☒ HTMLのMETAタグのCharsetが文字コードと一致していない場合に警告する

☒ CSVの先頭行を項目名とみなす

ファイルオープンダイアログのフィルタ設定

ここで指定した拡張子のみ初期表示されます。

CSVファイルの拡張子

HTMLファイルの拡張子

出力ファイルの設定

☒ 行番号 ☐ 連番 ☐ 任意の項目

出力ファイルの拡張子

初期設定に戻す 閉じる

設定項目	説明	初期値
文字コードの自動判別		
└─ CSV (メイン)	文字コードの自動判別をするか否か	O n
└─ CSV (サブ)	文字コードの自動判別をするか否か	O n
└─ HTMLテンプレート	文字コードの自動判別をするか否か	O n
選択と同時に読み込む	CSVファイルを指定したと同時に読み込んで下部表に表示するか否か	O n
読み込みと同時に全選択する	CSVファイルを読み込んで下部表に表示する際に全選択するか否か	O n
HTML の META タグの Charset が文字コードと一致し	自動判定したテンプレートの文字コードと、テンプレート内の Charset に	O n

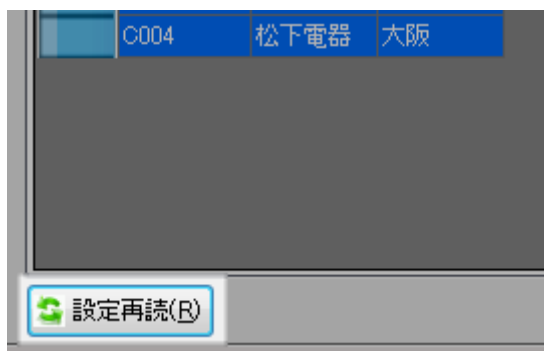
ていない場合に警告する	記載されている文字コードが不一致の場合に警告表するか否か	
C S Vの先頭行を項目名とみなす	メイン画面を起動した際に、既定で[先頭行を項目名とみなす]をO nにする	O n
C S Vファイルの拡張子	C S Vファイルを指定する際にここで指定した拡張子のファイルだけが表示されるようにフィルタをかける	*.csv;*.tab;*.txt
テンプレートファイルの拡張子	テンプレートファイルを指定する際にここで指定した拡張子のファイルだけが表示されるようにフィルタをかける	*.html;*.htm;*.shtml;*.php;*.asp;
保存ファイルの命名ルール	保存するファイル名の命名ルール	“行番号”
保存ファイルの拡張子	保存ファイルの拡張子を選択するコンボボックスのリストに表示する拡張子を設定する	.html;.htm;.shtml;.php;.asp;

(注) 「テンプレートファイルの拡張子」と「保存ファイルの拡張子」では、「*」が付くか否かの書式が異なるので注意してください。

設定の即時反映


設定値には、設定した値がそのまま動作を決めるものと、設定した値で初期表示されて画面でも変更可能なものの2通りあります。





後者の設定値をその場で即時反映したい場合は、メイン画面左下にある[設定再読]をクリックします。



任意の処理対象データの選択方法

下図のように、処理対象を任意に選択する方法について説明します。

#	得意 先番 号	得意 先名	都道 府県 ▲
	C003	TOYOTA	愛知
	C002	シャープ	大阪
	C004	松下電器	大阪
	C001	SONY	東京

-  全選択する方法
-  選択を解除する方法
-  連続した行を選択する方法
-  離れた複数の行を選択する方法

全選択する方法

表の左上の「#」と表示されているセルをクリックします。

選択を解除する方法

任意のセルをクリックします。

続した行を選択する方法

連続した行を選択する場合は2通りの方法があります。

1つ目は、先頭行の行頭をクリックしてそのまま、最終行の行頭までドラッグします。

2つ目は、先頭行の行頭をクリックして選択状態にして、次に[Shift]キーを押しながら最終行をクリックします。

離れた複数の行を選択する方法

離れた複数の行を選択するには次のようにします。

まずは「連続した行を選択する」のドラッグによる選択方法で選択します。

次に離れた領域を[Ctrl]キーを押しながら同様に選択します。

アドバンスモード

アドバンスモードとは？

メインデータとサブデータの2つのデータを使ってテンプレートにデータを流し込むモードです。これによりベーシックモードでは実現できなかった多彩なデータ流し込みが可能となります。

メインデータとサブデータの関係

メインデータ1件に対して、サブデータは0件以上が対応します。

0件以上という言い方は妙に思うかもしれませんが、0件でも1件でも2件でもそれ以上でも構わないという意味です。(単に複数件が対応すると書くと必ず2件以上必要かと誤解してしまう恐れがあるため0件以上という表現をしています。)

メインデータとサブデータとの紐づけ

メインデータ1件に対してサブデータが複数件紐づくので、どれとどれが紐づくのかをツールに教えてあげる必要があります。このことをリンクと呼んでいます。

リンク



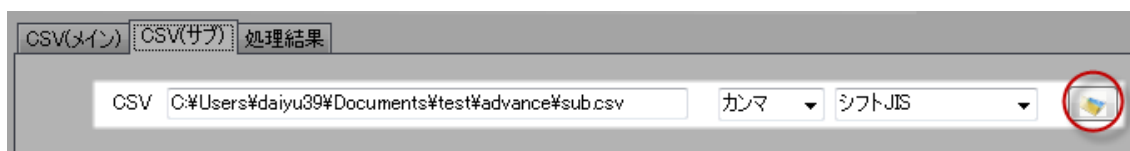
リンク設定で、どのサブデータがどのメインデータに紐づくのかをツールに教えてあげます。例えば下図では得意先番号を使ってリンクしています。これによって、メインデータの得意先番号 C001 のサブデータが3件に特定できるようになります。リンクを設定する手順は後で詳しく説明します。

CSVデータ(メイン)			CSVデータ(サブ)			
得意先番号	得意先名	都道府県	得意先番号	商品コード	商品名	単価
C001	シャープ	大阪	C001	I001	商品A	1260
			C001	I003	商品C	630
			C001	I005	商品E	315
			C002	I003	商品C	630
			C003	I004	商品D	2100

リンク

サブ画面

CSVデータ（サブ）の指定



テンプレートに流し込むCSVデータ（サブ）を指定します。文字コードが自動判別されて表示されます。自動判別できない場合は「UTF-8(BOM なし)」が設定されます。

メインのCSVデータが未指定の場合は、指定ボタンはクリック出来ないようになっています。先にメインのCSVデータを指定してください。

有効なデータを指定すると、データを取込んで下部の表に表示します。また[リンク設定]ボタンがクリックできる状態になります。

リンクの設定



[リンク設定]をクリックするとリンク設定画面が開きます。この画面でリンク設定を行います。

リンク設定画面

メイン	サブ
得意先番号	(未設定)

ここではメインデータとサブデータを紐づけるリンク設定について説明します。

メインデータ側のリンク項目を選択する

「メイン(候補)」と表示されている欄には、メインデータの項目が一覧表示されています。

この中から、リンクとして使用する項目（以降、リンク項目）を設定していきます。

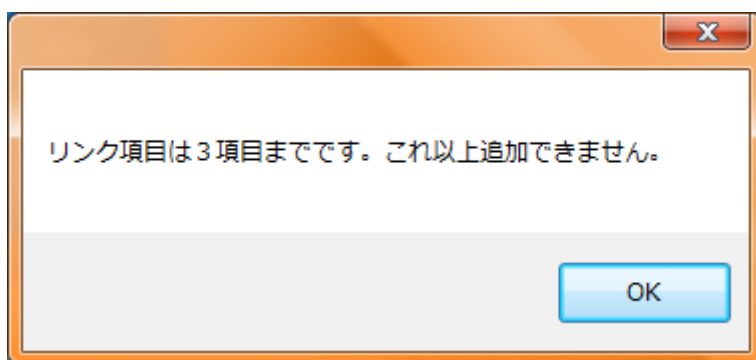
まずは、リンク項目候補リスト(左側のリスト)の中からリンク項目の一つを選択状態にします。

[>]ボタンをクリックします。リンク項目確定リスト（右側のリスト）に項目が移動します。

リンク	
	サブ
>	メイン
<	得意先番号
<<	(未設定)

リンク項目が1項目だけの場合は、後述の手順でサブデータ側のリンク項目を指定します。

リンク項目が複数の場合は、同じ手順を繰り返して項目を追加していきます。リンクする項目は3項目まで指定できます。それ以上の項目を追加しようとすると警告が表示されます。



追加したリンク項目リストのサブ欄の表示は“(未設定)”となっており、サブ側のリンク項目が設定されていないことを表しています。

背景色が水色の行は、この後おこなうサブ側のリンク項目を設定するときの現在対象行です。行をクリックすると水色になります。候補リストから選択リストへ項目を移動すると自動で選択状態になります。

サブデータ側のリンク項目を指定する

サブデータ側のリンク項目を指定します。

メインデータのどの項目に紐づけるのかを、リンク項目確定リスト（右側のリスト）から選択します。

「サブ(候補)」と表示されている欄には、サブデータの項目が一覧表示されています。

この中から、上のリストで選択したメインの項目とリンクするサブの項目を設定していきます。

サブデータのリンク項目候補リスト（下部のリスト）の中から項目を1つ選択して、[リンク] ボタンをクリックします。

“（未設定）”と表示されていた箇所が、サブ項目名に置き換わって表示されます。

メイン	サブ
得意先番号	得意先番号

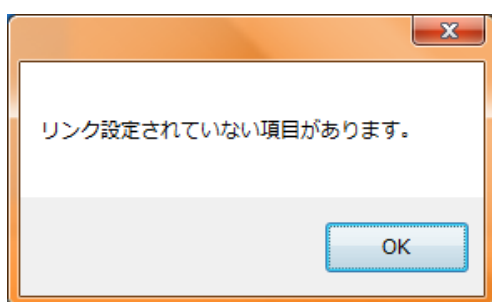


上記ではリンクするメインとサブの項目名は一致していましたが、必ずしも一致させる必要はありません。例えば、メインデータの「得意先番号」とサブデータの「得意先No.」をリンクすることも可能です。

間違った項目を設定した場合は、正しいリンク項目を選択して再度[リンク]をクリックしてください。

すべてのメイン項目に対してサブ項目の紐づけが完了したら、[OK]をクリックしてリンク設定画面を閉じます。

未設定のリンク項目が残っている場合は警告が表示されます。すべてのリンク項目を設定するか、不要なリンク項目を取り消してください。



リンク項目の取り消し

[>]ボタンでリンク項目を左側から右側へ移動したあと、もう一度左側へ移動したい場合（取り消したい場合）は、取り消したい項目を選択状態にしてから[<]をクリックします。

すべてのリンク項目を取り消すには[<<]をクリックします。

APPENDIX

CSVファイルの仕様

基本仕様

メイン、サブ、に共通の基本的な仕様です。

当ツールでは次の2つの形式のどちらもお使いいただけます。

✚ 先頭行が項目名で2行目以降がデータのもの（項目ありデータ）

✚ 先頭行からデータのもの（項目なしデータ）

形式に合わせて、[先頭行を項目名とする]のオンオフを切り替えてください。

先頭行が項目名で2行目以降がデータのもの（項目ありデータ）

項目名 1	項目名 2	項目名 3
データ 11	データ 12	データ 13
データ 21	データ 22	データ 23
データ 31	データ 32	データ 33

先頭行からデータのもの（項目なしデータ）

データ 11	データ 12	データ 13
データ 21	データ 22	データ 23
データ 31	データ 32	データ 33

CSVファイル（サブ）の仕様

CSVデータ（サブ）には、1項目以上、3項目以下のリンク用の項目が必要です。この項目がないと、メインデータとの紐づけができません。

リンク項目	項目名 1	項目名 2	項目名 3
データ 10	データ 11	データ 12	データ 13
データ 20	データ 21	データ 22	データ 23

データ 30

データ 31

データ 32

データ 33

サブデータのリンク項目名は必ずしもメインデータの項目名と一致している必要はありません。
また、データの先頭行に項目名が入っていない項目なしデータであっても、ツールが自動で1，
2，3…と項目名を割り当てますのでリンクは可能です。

サブデータはテンプレートに設定した[サブセクション](#)の位置に挿入されます。

テンプレートの仕様

基本仕様

データを流し込む場所（＝ブレースホルダー）は `{ }` で囲みます。

（ここでは分かりやすく倍角で書いていますが実際には半角で記述してください）

CSVデータ

得意先番号	得意先名	都道府県
C001	シャープ	大阪

テンプレート

```
<TD>{得意先番号}</TD>
<TD>{得意先名}</TD>
<TD>{都道府県}</TD>
```

例えば `{得意先番号}` のように記述すると、CSV データの得意先番号の項目がその場所に入ります。上記の場合、データを流し込んだ後の状態は次のようになります。

```
<TD>C001</TD>
```

```
<TD>シャープ</TD>
```

```
<TD>大阪</TD>
```

先頭行が項目名でないデータの場合は先頭から順に 1,2,3…と項目名が付きます。この場合のブレースホルダーは `{1}` `{2}` `{3}` のように記述してください。

テンプレート（サブセクションを含む）の仕様

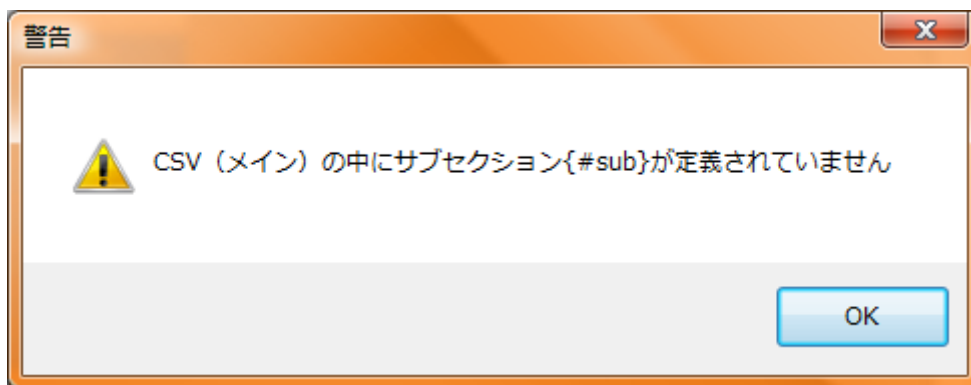
サブセクション

サブデータが挿入される位置は `{# s u b}` および `{#/ s u b}` で囲んだ領域になります。この領域をサブセクションと呼びます。

（ここでは分かりやすく倍角で書いていますが実際には半角で記述してください）

```
{#sub}  
<TR>  
<TD>{商品コード}</TD>  
<TD>{商品名}</TD>  
<TD>{単価}</TD>  
</TR>  
{#/sub}
```

アドバンスモードで指定したテンプレートにサブセクションが存在しない場合はエラーとなります。



サブセクション内の書式はベーシックモードでの書式と同じです。プレースホルダーを {} で囲みます。

サブセクション内のプレースホルダーはサブデータでのみ置き換わります。たとえメインデータの項目で名称が一致するものがあったとしても無視されます。

反対にサブセクション外のプレースホルダーはメインデータでのみ置き換わります。たとえサブデータの項目で名称が一致するものがあったとしても無視されます。

操作ショートカット等

ファイル指定時

ファイル指定時にフォルダのアイコンが表示されたボタンをクリックする代わりに、ファイル名が表示されるテキストボックスをダブルクリックすることでも同様の操作が可能です。

フォルダ指定時

保存先フォルダ指定時に、フォルダのアイコンが表示されたボタンをクリックする代わりに、ファイル名が表示されるテキストボックスをダブルクリックすることでも同様の操作が可能です。

ファイル指定ダイアログ

ファイルを開くダイアログでファイル選択時に、該当ファイルを選択状態にしてから[開く]ボタンをクリックする代わりに、該当ファイルをダブルクリックすることでも同様の操作が可能です。

リンク設定画面

リンク設定画面でメイン候補リスト（左側のリスト）およびメイン選択リスト（右側のリスト）へ追加するときに、[>]ボタンをクリックする代わりに、該当行をダブルクリックすることでも同様の操作が可能です。[<]ボタンも同様です。この場合は右側のリストの該当行をダブルクリックします。

コンボボックス

▼をクリックする代わりに、白い四角内をクリックすることでも同様の操作が可能です。

サブ(候補)

トラブルシューティング



ボタンが押せない

前提条件が揃うまで押せないようになっているボタンがあります。各画面説明で前提条件をお確かめください。前提条件が揃っていると思われるにも関わらず押せない場合はお手数ですがサポート窓口までご連絡ください。

テンプレートのサブセクションが置き換わらない。

主に3つの原因が考えられます。該当する箇所を修正した上でもう一度実行してみてください。

1. リンク設定が正しくない。
2. サブセクションの定義書式が正しくない。
3. プレースホルダーの書式が正しくない。

リンク設定が正しくない

リンク設定に基づいて、メインの項目値が等しいものという条件でサブのデータが使われます。

サブセクションの定義書式が正しくない。

サブセクションの定義は、他のプレースホルダーの書式と異なります。

詳しくは、「テンプレートの仕様(アドバンスモード)」の「[サブセクションの定義](#)」の項をご覧ください。

プレースホルダーの書式が正しくない。

プレースホルダーでは倍角と半角は厳密に区別されます。特に丸括弧などの記号で見かけ上倍角半角の区別が付きにくい場合があります。項目名が正確に一致するようにコピー&ペーストでデータやテンプレートを作成することをお奨めします。

詳しくは、「テンプレートの仕様」の「プレースホルダーの定義」をご覧ください。

サポート窓口

サポートはメールで行っています。

メールアドレス：website@software.dohow.jp

メール件名：「HTML てんぷら」

バグの報告、改善要望、感想その他、お気軽にお問い合わせください。

個人情報の取り扱いについて

このツールを使うことにより個人情報が外部へ漏れる可能性は一切ございません。また外部のサーバーとの通信は一切しておりません。

免責事項

このツールを使ったことによって生じた損害に対する責は一切負いかねますので、最終的にはご自身の責任で使用願います。ただし意図的に使用者に対して損害を与えるような事実が判明した場合には1億円の賠償金を支払うことを誓約いたします。